

原 著

繁殖成績レベルが異なる農場における3カ月ごとの
離乳後6日以内交配母豚割合佐々木羊介 塚原健史 瀬瀬雄三[†]

明治大学農学部 (〒214-8571 川崎市多摩区東三田1-1-1)

(2009年9月17日受付・2009年12月7日受理)

要 約

本研究の目的は、離乳後6日以内交配母豚割合 (PSW6) について、3農場グループと4期間グループでの違いを産次ごとに比較することであった。農場グループは年間種付け雌豚当たり離乳子豚数の上位と下位25%値で、高・中・低繁殖成績農場に分類した。4期間グループは離乳月を1~3月、4~6月、7~9月、10~12月に分類した。112農場における2005年分娩の71,451回の離乳後の交配記録を用いた。平均PSW 6 (±標準誤差) は82.9 (±0.14) %であった。7~9月の離乳母豚は、全産次で10~12月の離乳母豚よりPSW6が低かった。高繁殖成績農場では、5産以上では、どの4期間でも離乳母豚でPSW6に差がなかった。繁殖成績を上げるために、7~9月でもPSW6をあげる飼養管理が望まれる。——キーワード：非生産日数、繁殖成績レベル、離乳後発情回帰日数。

----- 日獣会誌 63, 187~190 (2010)

[†] 連絡責任者：瀬瀬雄三 (明治大学農学部)

〒214-8571 川崎市多摩区東三田1-1-1

☎044-934-7826 FAX 044-934-7902

E-mail : koket001@isc.meiji.ac.jp